



## 平成23年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月10日

上場取引所 福

上場会社名 トラストパーク株式会社

コード番号 3235 URL <http://www.trustpark.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡邊 靖司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 矢羽田 弘

TEL 092-437-8944

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年6月期第3四半期の連結業績(平成22年7月1日～平成23年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第3四半期	5,740	58.8	524	474.5	468	626.2	219	—
22年6月期第3四半期	3,615	7.7	91	178.8	64	214.8	△33	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年6月期第3四半期	4,937.17	4,895.84
22年6月期第3四半期	△3,749.19	—

(注)平成23年3月16日付で1株につき5株の割合で株式分割しております。そのため、平成22年6月期第3四半期の1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が行われる前の数値で表示しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年6月期第3四半期	5,803	699	12.0	15,734.90
22年6月期	4,465	526	11.8	59,288.69

(参考) 自己資本 23年6月期第3四半期 699百万円 22年6月期 526百万円

(注)平成23年3月16日付で1株につき5株の割合で株式分割しております。そのため、平成22年6月期連結会計年度末の1株当たり純資産は、当該株式分割が行われる前の数値で表示しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年6月期	—	1,200.00	—	1,200.00	2,400.00
23年6月期	—	4,100.00	—	—	—
23年6月期(予想)	—	—	—	820.00	4,920.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

(注)平成23年3月16日付で1株につき5株の割合で株式分割しております。そのため、平成22年6月期及び平成23年6月期第2四半期の1株当たり配当金は、当該株式分割が行われる前の数値で表示しております。詳しくは「(ご参考)株式分割に伴う遡及修正値」をご覧ください。

### 3. 平成23年6月期の連結業績予想(平成22年7月1日～平成23年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	36.2	550	166.8	480	203.7	210	249.8	4,727.06

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年6月期3Q 44,425株 22年6月期 8,885株

② 期末自己株式数 23年6月期3Q 一株 22年6月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年6月期3Q 44,425株 22年6月期3Q 8,885株

(注) 平成23年3月16日付で1株につき5株の割合で株式分割しております。そのため、平成22年6月期の期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数、期中平均株式数(四半期累計)は、当該株式分割が行われる前の数値で表示しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想は前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(ご参考)

株式分割に伴う遡及修正値

当社は、平成23年3月16日付で1株につき5株の割合で株式分割を実施いたしました。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の平成22年6月期第3四半期の1株当たり情報、平成22年6月期の1株当たり情報及び1株当たり配当金、平成23年6月期第2四半期の1株当たり配当金は以下のとおりです。

1. 1株当たり情報

平成22年6月期第3四半期: 1株当たり四半期純利益△749.83円 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 1円

平成22年6月期: 1株当たり純資産11,857.73円

2. 1株当たり配当金

平成22年6月期 第2四半期末240円 期末240円 年間合計480円

平成23年6月期 第2四半期末820円

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(第3四半期連結累計期間) .....	7
(第3四半期連結会計期間) .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気対策等の効果もあり企業業績が一部回復に向かいつつあるものの、円高の進行・資源の高騰、厳しい雇用情勢等により先行き不透明な状況のまま推移しました。このような中で3月11日に発生した東日本大震災の影響により、長期的な景気の低迷が懸念される状況となりました。

当社グループが属する駐車場業界におきましては、駐車場の稼働状況は回復基調にはありましたが、東日本大震災及び計画停電等の影響もあり、まだ需要が完全に回復するまでには至っておらず、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは主力の駐車場事業において、引き続き新規駐車場の開発に注力したことに加え、平成22年9月に株式会社グランシップの全株式を取得し子会社化したこと等により、当第3四半期末の駐車場数は前年同期より157ヶ所増の621ヶ所、車室数は2,461車室増の23,071車室となりました。

既存駐車場におきましては、引き続きカード会員拡大、タイムリーな駐車料金改定、駐車場賃借料の見直し、不採算駐車場からの撤退等収益力向上にも注力してまいりました。

不動産等事業におきましては、鹿児島県薩摩川内市にて開発を行ってまいりました73戸の新築マンション「トラス川内カルディオ」が平成22年7月に竣工し、全73戸の引渡しをいたしました。

また、低採算駐車場等の将来収支の見直しを行い、駐車場設備等の減損損失13,522千円を計上いたしました。

以上の結果、売上高は5,740,748千円（前年同期比58.8%増）、営業利益は524,312千円（前年同期比474.5%増）、経常利益は468,060千円（前年同期比626.2%増）、四半期純利益は219,333千円（前年同期は四半期純損失33,311千円）となりました。

セグメントの業績については、以下の通りであります。なお、第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。これによる事業区分に与える影響は軽微なため、前年同期比較を行っております。

#### ①駐車場事業

継続的に行ってまいりました収益力の高い新規駐車場開発の強化、カード会員拡大及び駐車場賃借料をはじめとする駐車場原価の見直し等による既存駐車場の収益力向上、不採算駐車場からの撤退等の効果もありましたが、業容拡大に伴う販売費及び一般管理費の増加分を吸収するまでには至らず、売上高は3,977,828千円（前年同期比12.0%増）、営業利益は185,783千円（前年同期比3.1%増）となりました。

売上高の内訳は、直営店方式3,324,563千円（前年同期比12.4%増）、加盟店方式462,828千円（前年同期比13.7%増）、管理受託方式133,375千円（前年同期比4.0%減）、機械販売等57,061千円（前年同期比16.9%増）となりました。

#### ②不動産等事業

駐車場を中心とした不動産売買仲介事業の他、広島県廿日市市及び福岡県北九州市門司区におけるマンション販売並びに鹿児島県薩摩川内市内における新築マンション「トラス川内カルディオ」の引渡し等を行った結果、売上高は1,762,919千円（前年同期は売上高3,238千円）、営業利益は333,309千円（前年同期は営業損失38,995千円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 1. 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して671,487千円増加し、2,940,694千円となりました。これは主として、現金及び預金の増加482,390千円、仕掛販売用不動産の増加307,137千円、前払費用の増加15,639千円、受取手形及び売掛金の減少22,485千円、販売用不動産の減少38,965千円等によるものであります。

##### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比較して666,224千円増加し、2,862,685千円となりました。これは主として、新規直営駐車場等の設備投資による有形固定資産の増加361,612千円、株式の取得等によるのれんの増加272,887千円等によるものであります。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して298,762千円増加し、2,464,120千円となりました。これは主として、短期借入金の増加184,400千円、未払法人税等の増加87,454千円、リース債務の増加71,509千円、1年内返済予定の長期借入金の減少62,663千円等によるものであります。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比較して866,705千円増加し、2,640,236千円となりました。これは主として、長期借入金の増加551,574千円、月極駐車場契約者からの預り敷金の増加23,136千円、リース債務の増加248,345千円、退職給付引当金の増加4,008千円等によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して172,242千円増加し、699,023千円となりました。これは主として、四半期純利益の計上219,333千円及び配当金の支払47,090千円によるものであります。

## 2. キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較し473,459千円増加し、1,249,074千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により取得した資金は、336,676千円(前年同期は437,277千円の使用)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益437,971千円を計上したことのほか、駐車場設備等の減価償却費118,545千円、駐車場設備等の減損損失13,522千円、のれん償却額32,538千円、たな卸資産の増加271,536千円の支出等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、320,601千円(前年同期は206,702千円の使用)となりました。これは主に新規駐車場設備に係る有形固定資産の取得による支出110,976千円、定期預金の預入による支出9,233千円、新規駐車場に係る敷金の差入による支出13,460千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出167,600千円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により取得した資金は、457,385千円(前年同期は788,645千円の取得)となりました。これは主に短期借入れによる収入1,545,000千円、短期借入金の返済による支出1,360,600千円、長期借入れによる収入883,600千円、長期借入金の返済による支出522,206千円、リース債務の返済による支出40,676千円、配当金の支払額45,761千円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年6月期の通期の業績予想につきましては、平成22年8月9日に公表いたしました「平成22年6月期 決算短信」における通期の業績を修正しております。詳しくは平成23年5月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

第1四半期連結会計期間より、新たに株式会社グランシップの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

なお、平成22年9月30日をみなし取得日としたため、第2四半期連結会計期間より、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書を連結しております。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

## ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

## ②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## ③繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

## 1. 会計方針の変更

## ①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は636千円減少、経常利益は1,671千円減少、税金等調整前四半期純利益は、17,432千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は15,997千円であります。

## ②企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

## 2. 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

①前第3四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取補償金」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取補償金」は228千円であります。

②「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,323,521	841,131
受取手形及び売掛金	108,145	130,631
有価証券	12,035	12,032
販売用不動産	99,228	138,194
仕掛販売用不動産	1,064,810	757,672
仕掛品	—	47
原材料及び貯蔵品	4,099	687
前払費用	284,131	268,491
その他	46,425	122,886
貸倒引当金	△1,702	△2,567
流動資産合計	2,940,694	2,269,207
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,444,754	1,438,566
その他(純額)	744,975	389,550
有形固定資産合計	2,189,729	1,828,117
無形固定資産		
のれん	331,813	58,926
その他	34,871	20,197
無形固定資産合計	366,685	79,123
投資その他の資産		
その他	307,448	290,505
貸倒引当金	△1,177	△1,284
投資その他の資産合計	306,270	289,220
固定資産合計	2,862,685	2,196,461
資産合計	5,803,380	4,465,668

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	51,261	53,787
短期借入金	1,220,000	1,035,600
1年内返済予定の長期借入金	472,217	534,880
未払法人税等	150,752	63,298
ポイント引当金	24,934	25,069
資産除去債務	915	—
その他	544,040	452,723
流動負債合計	2,464,120	2,165,357
固定負債		
長期借入金	2,107,662	1,556,088
退職給付引当金	11,551	7,543
資産除去債務	24,536	—
その他	496,487	209,899
固定負債合計	2,640,236	1,773,530
負債合計	5,104,356	3,938,888
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,500	333,500
資本剰余金	104,000	104,000
利益剰余金	261,521	89,277
株主資本合計	699,021	526,777
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	2
評価・換算差額等合計	1	2
純資産合計	699,023	526,780
負債純資産合計	5,803,380	4,465,668



(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)
売上高	3,615,647	5,740,748
売上原価	2,933,434	4,428,638
売上総利益	682,212	1,312,110
販売費及び一般管理費	590,953	787,797
営業利益	91,258	524,312
営業外収益		
受取利息	351	578
受取配当金	5	3
受取保険金	915	1,694
受取補償金	—	3,007
その他	1,526	1,778
営業外収益合計	2,799	7,061
営業外費用		
支払利息	24,025	47,001
その他	5,577	16,311
営業外費用合計	29,602	63,313
経常利益	64,456	468,060
特別損失		
固定資産除却損	—	82
固定資産売却損	—	805
減損損失	52,065	13,522
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,678
その他	5,858	—
特別損失合計	57,924	30,088
税金等調整前四半期純利益	6,531	437,971
法人税、住民税及び事業税	59,171	183,289
法人税等調整額	△19,328	35,348
法人税等合計	39,843	218,637
少数株主損益調整前四半期純利益	—	219,333
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,311	219,333

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
売上高	1,223,207	1,387,646
売上原価	982,622	1,144,680
売上総利益	240,584	242,965
販売費及び一般管理費	193,946	232,215
営業利益	46,638	10,750
営業外収益		
受取利息	167	143
受取配当金	2	1
受取損害金	—	160
還付事業所税	506	—
預り金精算差額金	—	341
その他	191	151
営業外収益合計	867	798
営業外費用		
支払利息	10,499	17,938
支払手数料	—	5,002
その他	1,857	1,942
営業外費用合計	12,357	24,883
経常利益又は経常損失(△)	35,149	△13,334
特別利益		
貸倒引当金戻入額	103	—
特別利益合計	103	—
特別損失		
固定資産除却損	—	82
固定資産売却損	—	193
減損損失	12,446	—
その他	2,137	—
特別損失合計	14,583	275
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	20,669	△13,610
法人税、住民税及び事業税	10,449	6,250
法人税等調整額	10,185	3,110
法人税等合計	20,634	9,361
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△22,971
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34	△22,971

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,531	437,971
減価償却費	78,637	118,545
減損損失	52,065	13,522
のれん償却額	4,238	32,538
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△458	△972
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	2,542	△135
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,588	4,008
受取利息及び受取配当金	△357	△581
支払利息	24,025	47,001
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	805
固定資産除却損	2,198	3,522
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	15,678
売上債権の増減額 (△は増加)	18,546	22,485
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△553,275	△271,536
仕入債務の増減額 (△は減少)	△18,566	△5,503
前払費用の増減額 (△は増加)	△35,904	17,527
その他	22,105	42,672
小計	△395,084	477,551
利息及び配当金の受取額	357	581
利息の支払額	△21,232	△51,320
法人税等の支払額	△24,964	△90,136
法人税等の還付額	3,647	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△437,277	336,676
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△12,733	△9,233
定期預金の払戻による収入	1,200	1,200
有価証券の取得による支出	△10,000	△10,000
有価証券の償還による収入	10,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△83,617	△110,976
無形固定資産の取得による支出	△1,645	△21,756
有形固定資産の売却による収入	—	1,000
事業譲受による支出	△66,489	—
投資有価証券の取得による支出	△60	—
貸付けによる支出	△1,200	—
貸付金の回収による収入	393	769
敷金の回収による収入	9,329	7,436
敷金の差入による支出	△50,805	△13,460
資産除去債務の履行による支出	—	△7,701
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△167,600
その他	△1,075	△280
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206,702	△320,601

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,820,000	1,545,000
短期借入金の返済による支出	△1,600,000	△1,360,600
長期借入れによる収入	750,000	883,600
長期借入金の返済による支出	△129,525	△522,206
割賦債務の返済による支出	△4,529	△1,970
社債の償還による支出	△5,000	—
リース債務の返済による支出	△22,135	△40,676
配当金の支払額	△20,163	△45,761
財務活動によるキャッシュ・フロー	788,645	457,385
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	144,666	473,459
現金及び現金同等物の期首残高	697,635	775,614
現金及び現金同等物の四半期末残高	842,302	1,249,074

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成22年3月31日)

	駐車場事業 (千円)	CG制作 事業 (千円)	不動産等 事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	3,551,654	21,832	3,238	38,921	3,615,647	—	3,615,647
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,503	—	—	—	2,503	(2,503)	—
計	3,554,158	21,832	3,238	38,921	3,618,150	(2,503)	3,615,647
営業利益又は営業損失(△)	180,240	△3,265	△38,995	△46,720	91,258	—	91,258

## (注) 1 事業の区分の方法

事業は、役務の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

## 2 各事業区分の主な内容

- (1) 駐車場事業・・・駐車場の運営及び駐車場の管理受託に関する事業
- (2) CG制作事業・・・コンピュータグラフィックスの制作販売に関する事業
- (3) 不動産等事業・・・不動産の売買、仲介及び賃貸並びにこれらに付随する事業
- (4) 飲食事業・・・飲食サービス店舗の運営及びこれらに付随する事業

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成22年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び所在支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成22年3月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

## 〔セグメント情報〕

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、駐車場の運営及び駐車場の管理受託に関する業務を主とした「駐車場事業」と、駐車場を中心とした不動産売買仲介業務の他、マンション開発業務等の「不動産等事業」の2つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年7月1日 至 平成23年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益損益計算書 計上額 (注) 2
	駐車場事業	不動産等 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,977,828	1,762,919	5,740,748	—	5,740,748
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,780	—	6,780	(6,780)	—
計	3,984,608	1,762,919	5,747,528	(6,780)	5,740,748
セグメント利益	185,783	333,309	519,092	5,220	524,312

(注) 1. セグメント利益の調整額の内容は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「駐車場事業」セグメントにおいて、主に収益性が著しく低下した店舗設備の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては13,078千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「駐車場事業」セグメントにおいて、株式会社グランシップからの事業譲受け及び新たに連結子会社とした株式会社グランシップの株式取得に伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、305,425千円であります。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。